



「引退生活を余生と呼ぶ人がいる、とんでもない！引退してからが人生の本番です。」

105歳で亡くなるまで現役の医師として活躍された日野原重明先生のことばです。

熱心なクリスチャンドクターであった日野原先生がハワイに来られた時、日曜日の礼拝で若者の賛美チームに飛び入り参加、手をたたき賛美をし、

説教をしてくださったことがありました。丁度、一月後にマキキ教会の牧師を引退する私にはなむけのことばを下さいました。

「おめでとうございます。引退するとは社会的責任である仕事と家庭的責任である子育てを終え、自分の一番したいことに心、時間とエネルギーを100%、使うことができる時を遂に手に入れるんです。先生、しっかり楽しんでくださいよ」

今、自分を育ててくれた阪南市で3年前に始まった「阪南バイブルチャペル」で夫婦揃ってお世話になり、昔の友達を訪ね、新しい友達と聖書を開き、乞われるとどこにでも出向いて人生の喜びの秘訣を分かち合い、今月の終わりからサンフランシスコ、ロス、ホノルルを訪ねて聖書を語り、久しぶりに子供たちやその家族と時を過ごし、8月には阪南に戻る・・・現役時代にはできなかった夏を迎え、人生の本番を楽しんでいます。

これも、日野原先生と同様、「死の向こうに望みのある人生を生きる」ことを高校時代に出会った宣教師から教えていただいたおかげです。「余生の願いはポックリ逝くこと」などとはもったい。

阪南バイブルチャペルでは「わたしもついに、後期高齢者になりました！」と人生の本番を迎える仲間が共に人生の本番を楽しんでいます。上手に人生の本番を迎え、助け合って、楽しみませんか。いつでも歓迎します。勿論、まだ、本番前の高校生のみなさんも歓迎します。